

要 旨
-----

## 放射線授業事例

題名	放射線と防災
応募代表者	永平寺町志比北小学校 小鍛治 優
共同応募者	
対象（校種・学年）	小学校・6年
教科	特別活動
単元など	防災（避難訓練）
目的	放射線を知り、原子力（放射線）防災に役立てる
キーワード	放射線の性質、放射線の人体影響、放射線防護の三原則
内容 （簡潔に）	<p>県内に原子力発電所を多数抱える福井県の学校として、小学生でも放射線について基礎・基本的な基礎知識を持つことは大切なことである。そこで、毎年、放射線と放射線防災の基礎知識を持たせることねらって授業を実践している。ちなみに本校は発電所から30km圏外であるが、避難してきた住民を受け入れる町にあたる。</p> <p>授業配当時間は4時間で、各時間の内容は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 簡単な読み物教材（「はじめまして ほうしゃせん」：（株）原子力安全システム研究所企画・制作）を読んだり、福島原子力発電所の事故の話を聞いたりして、放射線に関する感想や疑問を発表する</li> <li>(2) 2種類の物質（KCl、NaCl）の放射線を測定し、放射線と放射性物質のちがいを知る。自然放射線の測定や霧箱で放射線の飛跡を観察する。</li> <li>(3) 放射線の人体影響と放射線から身を守る方法を知る。原子力防災訓練について知る。</li> <li>(4) 学習のまとめ。児童の疑問を解決する。</li> </ol>
参考文献	<p>「はじめまして ほうしゃせん」：（株）原子力安全システム研究所 企画・制作</p> <p>放射線被ばくを防ぐ三原則 「美浜町原子力防災のしおり」より</p>